

令和元年度

高崎市社会福祉協議会概要

(平成30年度実績)

社会福祉法人 高崎市社会福祉協議会

目 次

第1	高崎市社会福祉協議会の概要	
1	沿革	1
2	所在地	1
3	組織	2
4	財源	4
第2	社会福祉事業	
1	地区社会福祉協議会活動の推進	6
2	高齢者や子育てサロン活動への支援	7
3	「社協たかさき」の発行	7
4	福祉バスの運行	8
5	地域福祉活動	8
6	法外援護	8
7	子育て支援事業（箕郷）	9
8	受託事業	9
9	福祉ボランティアの町づくり事業	10
10	生活福祉資金貸付事業	14
11	結婚相談事業	15
12	日常生活自立支援事業	15
13	福祉人材バンク事業	16
14	介護保険居宅介護支援事業・介護予防支援事業	17
15	介護保険等訪問介護事業	18
16	介護保険等通所介護事業	18
17	認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム一歩）	19
18	障害者総合支援訪問介護事業	19
19	障害者総合支援生活介護事業（基準該当生活介護）	20
20	児童発達支援・放課後等デイサービス（はばたき）	20
21	高崎市社会就労センターセルフ楽間	20
22	吉井障害者自立支援センター（こはぎ）	21
23	地域活動支援センター（さくらそう・こぼと）	22
24	児童館事業	22
25	長寿センター事業	23
26	各団体事務局の運営及び支援	23
27	フードドライブ事業	23
28	社会福祉関係実習生の受入れ	24
第3	公益事業	
1	おもちゃの図書館事業	24
2	福祉会館事業（指定管理）	25
3	配食サービス事業	25
4	高齢者あんしんセンターの運営（受託事業）	25
5	生活困窮者自立相談支援事業	28
6	成年後見事業	28
第4	収益事業	
	収益事業	29

第1 高崎市社会福祉協議会の概要

1 沿革

高崎市社会福祉協議会は、都道府県社会福祉協議会の設立が進められていた昭和26年7月に高崎市役所内に発足した。

当協議会が発足する以前にも、私たちの身近から貧困や疾病などの社会悪を排除し、健全な社会を建設すべく民間篤志家や各種団体による福祉活動や福祉施設の経営等が行われていたが、民間の自主的な福祉活動の中核となり、地域福祉を推進する公共性、公益性の高い総合機関としての社会福祉協議会の必要性が高まり、福祉関係者や地域の各団体が集まって、都道府県の発足と足並みを揃え、いち早く活動を開始した。

また、全国的には、昭和37年に「社会福祉協議会基本要項」が制定されたことにより「住民主体の原則」に基づき、市区町村を単位として、調査、広報等の方法により、地域住民の協働促進、関係機関の連絡調整及び社会資源の育成等の組織化活動を行う拠点として位置づけられ、昭和42年3月には、組織の整備と強化を図り、住民による住民のための社会福祉協議会となるべく、社会福祉法人としての認可を得、平成12年には、社会福祉法において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として、その役割が法的にも明文化された。

さらに、行政改革大綱に基づく高崎市の合併に合わせて、高崎市社会福祉協議会も平成18年1月23日には倉渕村、箕郷町、群馬町、新町の各社会福祉協議会と合併し、同年10月1日には榛名町社会福祉協議会、平成21年6月には吉井町社会福祉協議会と合併した。

これに伴い、旧高崎市社会福祉協議会を本所とし、合併前町村の各社会福祉協議会を支所と位置づけ業務を行っている。なお、本所については、平成18年8月の高崎市総合福祉センター開館に伴い現住所に事務所を移転、さらに吉井支所は平成26年4月に吉井福祉センターの移転に伴い事務所を移転した。

今後もきめ細かい福祉社会の実現に向け、関係諸団体や地域住民のご理解、ご協力をいただきながら、地域福祉を推進する団体として総括的福祉の実現を目指し事業の展開を図っている。

◎法人認可日 昭和42年3月6日

◎法人登記日 昭和42年3月28日

2 所在地

〒370-0065 高崎市末広町115番地1 高崎市総合福祉センター内
TEL 027-370-8855 FAX 027-370-8856
ホームページ <http://takasaki-shakyo.or.jp>
ボランティアセンター <http://takasaki-shakyo.or.jp/vnet/home.html>
Eメール 社会福祉課：takasaki-shakyo@bd.wakwak.com
在宅福祉課：zaitaku@takasaki-shakyo.or.jp
ボランティアセンター：volunteer-center@takasaki-shakyo.or.jp
高齢者あんしんセンターたかさき社協：
anshin-center@takasaki-shakyo.or.jp
グループホーム一路：ichiro@aj-wakwak.com

- ◎ 倉渕支所 〒370-3404 高崎市倉渕町岩氷19番地1 TEL 027-378-3440 FAX 027-360-9020
Eメール kurabuchi@takasaki-shakyo.or.jp
- ◎ 箕郷支所 〒370-3102 高崎市箕郷町生原74番地 TEL 027-371-6868 FAX 027-371-2855
Eメール misato@takasaki-shakyo.or.jp
- ◎ 群馬支所 〒370-3521 高崎市棟高町977番地1 TEL 027-373-7494 FAX 027-373-8090
Eメール gunma@takasaki-shakyo.or.jp
- ◎ 新町支所 〒370-1301 高崎市新町3135番地1 TEL 0274-42-5173 FAX 0274-42-8414
Eメール shinmachi@takasaki-shakyo.or.jp
- ◎ 榛名支所 〒370-3342 高崎市下室田町900番地1 TEL 027-374-5185 FAX 027-374-1055
Eメール haruna@takasaki-shakyo.or.jp
- ◎ 吉井支所 〒370-2133 高崎市吉井町吉井495 TEL 027-387-3187 FAX 027-387-3184
Eメール info@yoshiishakyo.or.jp

3 組 織

社会福祉協議会は、住民主体の理念に基づき関係機関や団体と連携し、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現をめざしている。

また、役員等は、区長、民生委員児童委員、婦人会連合会、医師会、社会福祉施設、保護司会、心身障害者等連絡協議会、公民館運営審議会、ボランティアの代表及び地域団体の代表、行政機関代表、学識経験者などで組織され、市民の声が反映されるようになっている。

(1) 役員等

理 事 15人（会長、副会長3人、常務理事1人を含む。）
 監 事 3人
 評議員 40人

(2) 役員等の選出区分

(単位：人)

選 出 区 分		理 事	監 事	評 議 員
1	地区社会福祉協議会の会長及び副会長の職にある者	2	1	33
2	区長会の会長及び副会長の職にある者	2		
3	民生委員児童委員協議会の会長及び副会長の職にある者	2	1	
4	社会福祉に関係する団体の代表者	2		4
5	社会福祉事業を営む団体の役職員	2		1
6	ボランティア活動を行う団体の代表者	1		1
7	保健、医療に関する機関の代表者	1		
8	社会教育に関係する団体の役職員			1
9	市社会福祉課長の職にある者	1		
10	学識経験者	2	1	
合 計		15	3	40

(3) 地区社会福祉協議会

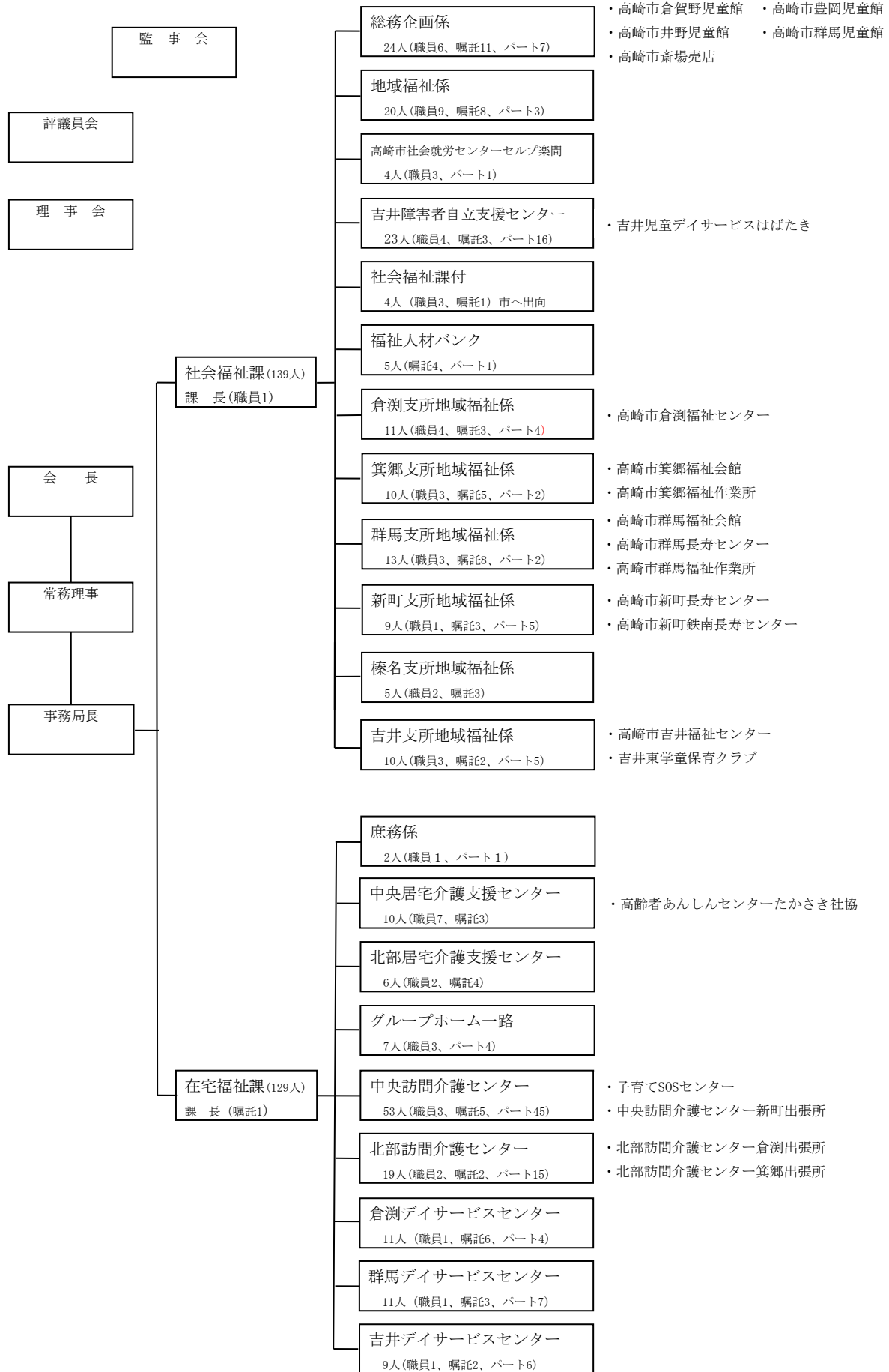
旧高崎市区域 27地区
 合併町村区域 6地区

(4) 職員（平成31年4月1日現在）

事務局長以下職員総数 269人
 内訳 職員63人、嘱託77人、パート129人

高崎市社会福祉協議会組織図及び職員配置

(平成31年4月1日現在)



4 財 源

社会福祉協議会は民間団体ですが、公的責任を負って地域福祉を推進する団体という側面を併せもっていることから、その財源は、県、市からの補助金や委託金、指定管理事業収入、市民の皆さんからの会費や寄附金、また、介護保険事業者としての介護報酬などにより賄われている。

一方、寄附金の使い途としては、寄せられた方々の意思を尊重し広く福祉事業全般に活用すると共に、高齢者、障害者、児童福祉などへの指定寄付として活動を支援している。

また、会費については、ふれあい・いきいきサロンや子育てサロン、地区社会福祉協議会等への活動を支援するための助成金などとして広く社会福祉事業全般に運用している。

なお、職員の人件費については、公的補助金及び介護保険報酬等で賄うことを原則としている。

(1) 予算（平成31年度）

単位：円

会 計 名	予 算 額
社 会 福 祉 事 業 会 計	1,131,734,000
公 益 事 業 会 計	156,661,000
収 益 事 業 会 計	28,687,000
合 計	1,317,082,000

(2) 福祉基金

設 立 昭和60年4月1日

現在額 249,711,000円（平成31年3月31日）

(3) 会員体制(会費収入)

当協議会の目的に賛同する個人、団体及び施設等から納入された会費は、ふれあいサロンや地区社協、学童クラブ等へ助成し地域福祉の向上のため、有効に活用した。

ア 一般会費

	町内数(a)	世 帯 数 (b)	目標額(c)= (b)×200円	会 費 収 入 (d)
本所	342町内	113,449世帯	22,689,800円	12,622,120円
倉渕	8町内	1,273世帯	254,600円	245,200円
箕郷	41町内	7,301世帯	1,460,200円	1,211,800円
群馬	30町内	16,646世帯	3,329,200円	2,349,500円
新町	10町内	4,848世帯	969,600円	920,000円
榛名	62町内	6,972世帯	1,394,400円	1,266,600円
吉井	36町内	8,804世帯	1,760,800円	1,414,900円
合計	529町内	159,293世帯	31,858,600円	20,030,120円

イ 特別・施設会費、団体会費

区 分	会 費 収 入	備 考
特別会費	713,000円	・保護司会 ・長寿会連合会 ・更生保護女性会 ・心身障害者等連絡協議会 ・ボランティアグループ連絡協議会 ・民生委員児童委員協議会 ・婦人会連合会 ・各民生委員児童委員
施設会費	393,000円	・保育園62園・社会福祉施設33カ所
団体会費	215,000円	・地区社会福祉協議会33地区
合 計	1,321,000円	

(4) 共同募金

共同募金推進計画に基づき、群馬県共同募金会高崎市支会を通じて当協議会に配分された配分金を地域福祉の充実を目的とした事業に活用した。

ア 共同募金配分金事業

地域配分金額	配分金内訳	摘 要
10,841,000円	5,260,000円	ふれあいサロン助成金
	3,414,000円	社協広報紙発行費用
	1,944,000円	福祉バス運行事業
	223,000円	災害対策費

イ 歳末たすけあい募金配分金事業

配分金額	配分金内訳	摘 要
511,000円	411,000円	フードドライブ事業
	100,000円	生活困窮者支援事業

(5) 金品の寄附

寄せられた寄附金は、その意思を尊重し高齢者福祉等に活用するとともに福祉基金に積立を行った。また、寄附物品は施設や団体等に配布し有効に活用した。

ア 一般寄附（現金）

区 分	寄附金額	寄附件数
法 人 運 営	1,076,269円	35件
善 意 銀 行（基 金）	1,144,877円	9件
ふれあいの広場(協賛金)	260,000円	14件
児 童 館	200,000円	4件
合 計	2,681,146円	62件

イ 指定寄附（現金）

区 分	29年度末 残 高	30年度 寄附金額	30年度 寄附件 数	30年度 助成金額 (件数)	30年度末 残 高
障害者	1,144,155円	153,122,889円	2件	0	154,267,044円
高齢者	1,605,686円	43,610円	2件	26,000円 (1件)	1,623,296円
児 童	135,769円	134,088円	1件	0	269,857円
合 計	2,885,610円	153,300,587円	5件	26,000円 (1件)	156,160,197円

区 分	寄附金額	寄附件数	備 考
福祉バス運行	5,000,000円	1件	社協福祉バス運行事業へ

ウ 物品

物 品	数 量	備 考
車椅子	5台	
タオル類	2,985枚	タオル、ハンカチ、ふきん 他
米	100kg	
招待券	70枚	やなせたかしのあそべる絵本展入場券
その他		除雪機、事務用品、手作り品 他
ふれあいの広場(協賛品)		ティッシュ、菓子

第2 社会福祉事業

1 地区社会福祉協議会活動の推進

地区社会福祉協議会は、地域住民が自分たちの生活する地域の福祉課題やニーズを主体的に捉え問題解決に向け自発的に取組む組織で、区長、民生委員児童委員、ボランティア等が中心になってさまざまな活動を通じて、市内33全地区で地域福祉づくりを進めている。

主な活動実績

活動区分	主な内容	実施地区数
研修会、視察等	施設等見学、サロン交流研修会、サロン情報交換会 地区内小中学校情報交換会	26地区
芸能祭等	高齢者ふれあい交流会、芸能祭、スポーツ大会、 作品展示会	21地区
見守り活動	友愛訪問、一声かけ運動、ひとり暮らし高齢者配食、 防犯パトロール、子育て家庭訪問	26地区
世代間交流	小学生へ「昔の遊び」を伝授、こどもフェスティバル、 ひとり暮らし高齢者へ花プレゼント、もちつき大会	13地区
その他の活動	福祉バザー、廃食用油回収・石鹸づくり、 地区社協だより、防災訓練	10地区

2 高齢者や子育てサロン活動への支援

高齢者のふれあい・いきいきサロンや、ふれあい・子育てサロンを新規で立ち上げるための相談や情報の提供、サロン交流会の開催、活動メニューに対する相談支援、活動費に対する助成などの支援を行った。

(1) ふれあい・いきいきサロン活動費の助成

	サロン数	助成金	摘要
29年度	342カ所	14,224,000円	42,000円×335カ所、31,500円×3カ所 24,500円×1カ所、21,000円×1カ所 7,000円×2カ所
30年度	353カ所	14,742,000円	42,000円×347カ所、38,500円×2カ所 31,500円×2カ所、14,000円×2カ所

(2) ふれあい・子育てサロン活動費の助成

	サロン数	助成金	摘要
29年度	37カ所	1,554,000円	42,000円×37カ所
30年度	36カ所	1,501,500円	42,000円×35カ所、31,500円×1カ所

(3) 高崎市ふれあい・いきいきサロン推進連絡会の開催

地区社協から推薦された各地区のサロン代表者が一堂に会し、意見交換や情報共有を図ることを目的に開催した。

日 時 平成30年8月28日(火)

参加者 25人

(4) 高崎市ふれあい・いきいきサロン研修会の開催

日頃、各地域においてサロン活動を実践している運営者等が一堂に会し、傾聴力を高め、サロン活動の充実を図り、誰もが安心して暮らせる地域づくりを行うことを目的に開催した。

日 時 平成31年2月28日(木)

会 場 箕郷文化会館ホール

参加者 330人

講 演 演題 『大切ないのちを守るためにあなたにできること』
講師 群馬いのちの電話研修副委員長 熊沢 幸雄 先生

3 「社協たかさき」の発行

地域住民に広く当協議会事業の周知及び社会福祉に対する啓発を行い、当協議会と地域住民が連携を密にして社会福祉の向上を図ることを目的に広報を発行した。

(1) 発行状況

項 目	回数	発行日及び部数
発 行 回 数	4回	8月1日号(第76号)160,700部 10月1日号(第77号)160,700部 12月1日号(第78号)160,800部 3月1日号(第79号)161,100部

(2) 編集委員会の開催 3回

4 福祉バスの運行

地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会等の登録団体が研修会等でバスを使用し、社会福祉の増進に寄与することを目的に本所、箕郷支所、群馬支所で福祉バスを運行した。

(1) 団体利用状況

区分		市社協	地区社協	民児協	福祉団体	ボランティア団体	合計
本所	回数	7回	91回	4回	1回	17回	120回
	人員	262人	2,827人	123人	31人	487人	3,730人
箕郷	回数	5回	94回	4回	6回	14回	123回
	人員	97人	1,802人	74人	109人	267人	2,349人
群馬	回数	0回	41回	1回	4回	0回	46回
	人員	0人	730人	24人	44人	0人	798人

(2) 月別利用状況

(単位:回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本所	17	19	8	7	2	14	21	19	4	1	1	7	120
箕郷	17	15	13	8	2	7	20	20	9	3	4	5	123
群馬	4	13	8	3	0	0	4	11	0	1	1	1	46
合計	38	47	29	18	4	21	45	50	13	5	6	13	289

5 地域福祉活動

(1) 地域の会議への参加

高齢者あんしんセンターが主催する地域の会議や、高崎市が推進する地域包括ケアシステムの生活支援体制整備事業の会議に地区担当職員が参加し、住民や関係機関等が行うニーズ把握や支えあいの仕組みづくりに協力した。

出席状況

	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	計
29年度	174回	8回	10回	39回	18回	18回	22回	289回
30年度	179回	10回	7回	29回	18回	12回	12回	267回

(2) 高崎市からの委嘱を受け、職員1名が第1層生活支援コーディネーターとして、高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりに従事した。

会議等への参加回数 205回

6 法外援護

無銭旅行者援護費の貸与や、罹災した世帯へ火災見舞金の支給を行った。

法外援護支給状況

区分	地域	支給件数	返済件数
無銭旅行者 援護費	本所	43件	3件
	新町	2件	0件
	吉井	0件	0件
	計	45件	3件
罹災援護	全域	12件	—

7 子育て支援事業(箕郷)

0歳から3歳の未就園児をもつ親子を対象として、毎月第1・3火曜日に親子ふれあいサークルを行った。子育ての経験を持つボランティアが相談を受けたり、お母さん同士の情報交換の場にもなったりしている。また、子育てに役立つ講座も開催した。

(1) 親子ふれあいサークル

- ・開催回数 23回
- ・参加延人数 526組(1,084人)
- ・ボランティア延人数 127人
- ・内 容 季節の簡単工作、ベビーボックス&キッズボックス、写真撮影会、おもちゃ遊び、身長・体重計測 他

(2) 子育てお役立講座

第1回目

- ・日 時 10月18日(木)
- ・内 容 「子どもとの関わり方～ほめて育てるにはどうすればいいの～」
- ・参加人数 10組20人

第2回目

- ・日 時 10月25日(木)
- ・内 容 「ママへの思いやりストレッチ」
- ・参加人数 11組22人

8 受託事業

(1) 手話通訳者派遣事業

ろう者とその他の人が社会生活上の意思疎通を図るため、意思伝達の手段として手話通訳者を派遣した。

- ア 登録手話通訳者 52人
- イ 設置手話通訳者 3人(常勤2人、非常勤1人)
- ウ 派遣申請件数 1,151件

申請内訳

(単位:件)

	医療健康	権利保持	職業労働	教育保育	生活	福祉	団体活動	会議	大会行事	運転免許	資格取得	冠婚葬祭	その他	合計
29年度	767	9	21	38	40	114	18	21	25	30	11	12	2	1,183
30年度	820	17	36	69	50	73	8	25	25	16	3	7	2	1,151

- エ 手話通訳者派遣人数 1,144人

手話通訳者内訳

	登録手話通訳者	他機関手話通訳者	設置手話通訳者	合計
29年度	851人	20人	299人	1,170人
30年度	770人	73人	301人	1,144人

オ 設置手話通訳者対応件数

活動内訳

	相 談	電話通訳	連絡・打合せ	コーディネート
29年度	614件	111件	589件	2,284件
30年度	609件	156件	466件	2,363件

カ 高崎市手話通訳事業等運営委員会開催 4回

キ 登録手話通訳者現任研修 5回

ク 頸肩腕障害特殊健診受診 5人

(設置手話通訳者及び高崎市手話通訳者派遣事業のみに登録する手話通訳者を対象)

(2) 第41回たかさき市民福祉大会の開催(高崎市と共催)

市民が共に支え合い、住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進することを目的として、ボランティア顕彰、社会福祉事業功労者表彰・感謝、講演を実施した。

ア 日 時 平成31年2月16日(土)

イ 会 場 高崎市文化会館

ウ 来場者数 650人

エ 受賞者数 ボランティア顕彰 個人10人、団体5団体
社会福祉事業功労者表彰 個人2人、団体2団体
感謝 団体5団体

オ 講 演 演題 『心の強い子どもを育てる秘訣』

講師 筑波大学医学医療系教授 徳田 克己 先生

(3) 吉井東学童クラブの経営(吉井)

保護者が仕事等により昼間留守になる家庭の児童を対象として、遊びや生活の場を提供し、放課後児童の健全育成を行った。

利用状況

	開所日数	在籍数	年間利用延人数
29年度	290日	28人	4,288人
30年度	285日	24人	4,442人

9 福祉ボランティアの町づくり事業

市民がともに手を取り合い心のふれあうまちづくりを推進するため、ボランティアセンターを運営し、各種ボランティア講座の開催や啓発行事の実施、情報提供、ボランティアコーディネートを行いボランティア活動の活性化を図った。

(1) 主催行事等

期 日	講 座 名	内 容	会 場	参加者
8月2日～ 3日	サマーボランティア 体験講座	高齢者や障害者の特徴について学び、施設でのボランティア活動を体験した。	群馬福祉会館 他、群馬地域 内福祉施設	13人
10月27日	第32回高崎ふれあいの 広場開催	地区社会福祉協議会、ボランティアグループ、福祉団体、各種団体、行政等が一堂に会し、心ふれあう町づくりを推進するため広場を開催した。	もてなし広場	3,500人

期 日	講 座 名	内 容	会 場	参加者
11月28日	スクールサポーター養成講座	人とのつながりの大切さを子ども達に伝え、適切で安全な福祉体験学習実施を支援できるスクールサポーターを養成した。	榛名公民館	9人
2月18日	傾聴ボランティアスキルアップ講座	傾聴ボランティア活動における、認知症高齢者やうつ傾向のある高齢者への傾聴のスキルアップを目的として開催した。	群馬福祉会館	35人
3月27日	スクールサポーターフォローアップ講座	サポーターのスキルアップと共に活動内容について認識を深め合い、さらに豊かな福祉教育の実施を目指した。	市総合福祉センター	11人

(2) ボランティア相談・コーディネート

・ボランティア相談受付数

ボランティアセンターに寄せられた相談に対応し、助言や情報提供を行った。

また、ボランティアを必要とする団体や施設からのニーズを受け、ホームページへの掲載やコーディネートを行った。

	29年度	30年度
相談件数	72件	162件
ニーズ受付数	258件	178件

(3) ボランティアグループ登録状況

市内で活動するボランティアグループの登録を受け、活動状況を把握した。

	29年度	30年度
グループ数	170	163
人 数	6,319人	7,689人

(4) ボランティア活動保険の補助

登録ボランティアグループの会員を対象にボランティア活動保険料の一部として、1人100円の助成をした。

	人数	金額
29年度	3,727人	372,700円
30年度	3,404人	340,400円

※行政等の補助を受けている団体を除く

(5) ボランティアグループ活動補助金の交付

社会福祉活動の増進を目的として市内で活動するボランティアグループに対して、活動費の一部を補助した。

	補助団体数	金額
29年度	64団体	1,425,740円
30年度	56団体	1,251,140円

(6) 車いす等対応車両貸出サービス事業

高齢者や障害者の通院、通所、買物などの日常生活や、家族旅行や冠婚葬祭などの外出を支援するため、車いす等対応車両の貸出サービスを実施した。

貸出件数

	本所	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
29年度	119件	128件	120件	63件	65件	69件	564件
30年度	140件	137件	121件	46件	47件	47件	538件

(7) 福祉用具貸出事業(車いすの貸出)

一時的に車いすが必要な方に対して、車いすの貸し出しを行った。

車いす貸出申請件数(団体貸与含む)

	本所	倉渕	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
29年度	266件	1件	54件	53件	16件	29件	35件	454件
30年度	211件	2件	60件	64件	27件	56件	34件	454件

(8) 福祉教育の推進

福祉教育を推進する中で、幼少期や児童期に福祉への理解と関心を高めることが期待されている。また、企業においては高齢社会を迎え、高齢者や障害のあるお客様が増加していることから、スタッフへの福祉教育が求められている。依頼のあった学校や企業に、福祉用具の貸し出しや職員が出向いての指導を行なった。

(単位:回)

地域	貸出講師派遣数	内 容
本所	小学校 18	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出、簡易点字器貸出、アイマスク貸出 車いす体験・介助指導、高齢者疑似体験指導 ブラインドウォーク・ガイドヘルプ指導、福祉講話 ※スクールサポーター派遣(24回)
	中学校 4	
	高等学校 1	
	大学 1	
倉渕	小学校 1	車いす体験学習、高齢者疑似体験指導
	中学校 1	
箕郷	小学校 8	車いす体験学習、高齢者疑似体験、ブラインドウォーク体験、福祉会館・福祉作業所・福祉車両見学、福祉講話、地区社協行事参加、やるベンチャー受入(5日間)
	中学校 1	
群馬	小学校 9	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出、アイマスク貸出、車いす体験学習、高齢者疑似体験指導、ブラインドウォーク体験指導
	中学校 2	
	企業・団体等 6	
新町	小学校 5	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出 高齢者疑似体験指導、施設見学(長寿センター)受入、高齢者との交流
	中学校 1	
	大学 2	
	専門学校 1	
榛名	小学校 2	高齢者疑似体験用具貸出、車いす体験学習、高齢者疑似体験 ※スクールサポーター派遣(1回)
吉井	小学校 9	車いす貸出、高齢者疑似体験用具貸出、簡易点字器貸出、アイマスク貸出、講師紹介

(9) 買物困難者等への支援

○高齢者等買物代行業

日常的な買物に困難を抱えている高齢者等を対象に、登録ボランティアによる日常生活用品の買物を代行する高齢者等買物代行業を実施した。広報等で広く市民に事業周知を行うと共に、長寿会や婦人会のボランティア協力を得て、円滑な利用促進に努めた。

また、利用者それぞれの状況に合わせてボランティアとのマッチングを行い、週に1回から月に1回の頻度で買物代行を実施した。

利用者と定期的に顔を合わせるボランティアならではの気づきが安否確認をはじめ、その他の生活課題の把握へつながり、その後も行政や高齢者あんしんセンター等と協力、連携しながら関わりを持った。

実施状況

項目	29年度	30年度
登録ボランティア数	213人 (男性50人、女性163人)	211人 (男性47人、女性164人)
利用者登録数	104人	102人
延べボランティア稼働数	695人	734人
延べ利用者数	789人	812人
延べ代行稼働件数	2,814件	2,882件

○倉渚地域高齢者買い物支援事業

倉渚地域内の買い物等弱者対策のため、公共交通空白地有償運送の制度により自宅から倉渚地域内の商店や金融機関、医療機関等まで、有償運転ボランティアが送迎するサービスを行った。

・運行日時及び運行地域 毎週月～金曜日 9:30～17:00(倉渚全域)

実施状況

項目	29年度	30年度
運転ボランティア	8人	7人
利用登録者数	48人	57人
運行回数	187回	250回
延べ利用者数	225人	325人

(10) 傾聴ボランティア派遣事業

日頃から人と接する機会の少ない高齢者に対し、話し相手をしながら時間を共有することで、より充実した日常生活を過ごせるよう支援するため、傾聴ボランティアを派遣した。

実施状況

	地域	本所	倉渚	箕郷	群馬	新町	榛名	吉井	合計
29年度	利用者実数	25人	1人	1人	1人	0人	1人	0人	29人
	訪問回数	266回	11回	21回	8回	0回	7回	0回	313回
30年度	利用者実数	24人	1人	2人	2人	0人	2人	0人	31人
	訪問回数	362回	6回	22回	12回	0回	11回	0回	413回

※傾聴ボランティア登録者数 79人

(11) 各種保険の加入促進

ボランティア活動中のさまざまな事故による怪我や損害賠償責任を補償するボランティア活動保険や行事用保険等への加入を促進するとともに、事故対応等の事務手続きを行った。

	ボランティア活動保険	行事用保険	福祉サービス総合補償	送迎サービス	サロン保険	事故取扱
29年度	8,133人	236件	11件	4件	406件	25件
30年度	8,529人	152件	9件	3件	418件	17件

(12) 収集物の受け入れ

学校や企業、団体等から寄せられたエコキャップ等の収集物を受入れ、有効に活用した。

品目	数量等	活用内容
エコキャップ	330 kg	エコキャップ推進協会を通じて換金され、海外の医療支援・ワクチン支援や障害者支援、環境教育等、様々な社会貢献活動に充当
使用済み切手	段ボール箱5箱	県内の障害福祉施設に送り、利用者の余暇活動の制作材料として活用
アルミ缶プルタブ	5,670円	プルタブを換金し、当協議会の車いす貸出事業用の車いすの購入費用として積立てた

(13) 被災地災害ボランティアセンターへの支援

平成30年7月豪雨災害支援として、職員1人を派遣し、支援活動を行った。

ア 期間 平成30年8月8日(水)～14日(火)

イ 支援先 広島県呉市災害ボランティアセンター安浦サテライト

10 生活福祉資金貸付事業

関係機関と協力し、援助が必要な低所得者世帯等に資金の貸付や相談支援を行った。また、生活困窮者自立支援事業における支援調整会議に出席し、市との連携を図った。なお、市において、生活保護申請者で緊急的に一時的な生活費を必要とする方に貸付を行う、つなぎ資金貸付事業では、市に原資を預け運用をしてもらった。

(1) 年間延べ相談件数 569件(昨年度574件)

(2) 償還戸別訪問件数 262件

(3) 支援調整会議出席回数 12回

(4) 生活福祉資金貸付及び償還業務

	貸 付		償 還		償還完了
	件数	金 額	件数	金 額	
29年度	38件	8,279,000円	1,094件	17,238,039円	35件
30年度	22件	7,312,000円	1,077件	25,811,608円	25件

(5) つなぎ資金貸付件数 7件(貸付金額 12,000円)

1 1 結婚相談事業

結婚を希望する方へ、結婚相談室の実施とお見合いパーティーの開催により、出会いの機会を提供した。

- (1) 相談日 毎週水曜、木曜日及び第1、第2、第3土曜日
- (2) 場 所 市総合福祉センター3階結婚相談室
- (3) 相談員 3人

(4) 結婚相談事業の登録状況

	新規登録者数			登録者数(利用中)		
	男性	女性	計	男性	女性	計
29年度	59人	33人	92人	277人	164人	441人
30年度	43人	27人	70人	241人	129人	370人

(5) 結婚相談室の実施状況

	実施日	相談件数(一日当たり)	見合い件数	成婚報告数
29年度	133日	1,200件 (9件)	160件	7組
30年度	132日	1,002件 (7件)	143件	2組

(6) お見合いパーティー開催状況(3回実施)

開催日	対象者年齢	参加者			カップル 成立	開催場所
		男性	女性	計		
9月24日	30歳～39歳	10人	12人	22人	5組	市総合福祉センター
12月2日	40歳～49歳	17人	24人	41人	3組	市総合福祉センター
3月10日	相談事業登録者	11人	9人	20人	2組	市総合福祉センター

1 2 日常生活自立支援事業

高崎市に在住する認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など判断能力の不十分な人を対象に、契約に基づき日常的な金銭管理の援助や通帳・印鑑の預かり等を適切に行った。

(1) 相談件数

	29年度	30年度
認知症高齢者	2,258件	2,157件
精神障害者	2,297件	1,831件
知的障害者	701件	527件
その他	2件	7件
合 計	5,258件	4,522件

(2) 契約状況及び課税状況の内訳

	年度別契約締結件数		実利用者件数(3月末現在)	
	29年度	30年度	29年度	30年度
認知症高齢者	9件	14件	72件	71件
精神障害者	5件	1件	23件	26件
知的障害者	3件	2件	29件	22件
合 計	17件	17件	124件	119件
課税世帯	2世帯	0世帯	9世帯	10世帯
非課税世帯	4世帯	11世帯	48世帯	45世帯
生活保護世帯	11世帯	6世帯	67世帯	64世帯
合 計	17世帯	17世帯	124世帯	119世帯

(3) 生活支援員登録者数 76人(任期:平成29年4月1日～平成31年3月31日)

(4) 生活支援員雇用者数 48人

(5) 生活支援員連絡会議

日 時 平成31年1月29日(火)

会 場 高崎市総合福祉センター

参加者 38人

内 容 テーマ 伝達トレーニング～自分の言葉は伝わっていないかも～

講 師 群馬医療福祉大学教員 鈴木 靖弘 氏

1 3 福祉人材バンク事業

福祉関係の求人の受付、就職の斡旋のほか福祉の仕事に関する広報啓発活動、就職ガイダンス、地区別ミニ就職面接会等の福祉人材開発事業を実施した。

また、マッチング機能強化事業による個々の求職者にふさわしいマッチング支援や職場開拓を行った。

職種別取扱状況

(単位:件・人)

区 分	求 人		求職者数	紹介者数	就職者数
	申込件数	求 人 数	30年度 (29年度)	30年度 (29年度)	30年度 (29年度)
	30年度 (29年度)	30年度 (29年度)			
ホームヘルパー	134 (123)	293 (256)	8 (8)	5 (6)	6 (8)
介 護 職	1,087 (1,029)	2,549 (2,416)	334 (340)	92 (101)	53 (77)
相談・支援・指導員	174 (179)	314 (311)	92 (105)	22 (35)	10 (20)
保 育 士	110 (83)	184 (136)	48 (34)	7 (3)	1 (6)
看 護 職	364 (318)	660 (620)	37 (24)	8 (7)	6 (2)
介護支援専門員	89 (65)	114 (83)	42 (53)	6 (12)	5 (8)

事務職	19 (42)	19 (44)	10 (14)	3 (8)	3 (4)
栄養士	13 (16)	16 (22)	7 (2)	1 (1)	1 (1)
調理員	56 (40)	106 (76)	3 (6)	2 (0)	0 (0)
理学療法士等	27 (23)	48 (37)	0 (3)	0 (0)	0 (0)
その他	68 (81)	120 (115)	15 (23)	4 (2)	2 (3)
合計	2,141 (1,999)	4,423 (4,116)	596 (612)	150 (175)	87 (129)

1.4 介護保険居宅介護支援事業・介護予防支援事業

(1) 居宅要介護者・居宅要支援者の依頼を受け、心身の状況、環境、本人や家族の希望等を踏まえ、居宅サービス計画・介護予防サービス計画を作成し、介護保険サービスを適切に利用できるよう関係機関との連絡調整を行った。また、市内居住者の調査委託対象者の要介護認定調査を行った。

事業所別実施状況(延人数)

(単位:人)

		中央居宅介護支援センター(本所)		倉渕居宅介護支援センター(倉渕)		北部居宅介護支援センター(群馬)		南部居宅介護支援センター(吉井)	
		29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
居宅介護支援		2,100	2,041	754	825	1,514	1,347	769	670
受託	介護予防プラン	294	254	62	101	324	329	128	109
	介護予防ケアマネジメント	380	366	299	336	249	191	109	96
	要介護認定訪問調査	72	58	7	8	33	15	31	24

(2) 指定介護予防支援業務・第1号介護予防支援業務として、あんしんセンター高崎社協が要支援者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者の、介護予防と自立支援の視点を踏まえ、適切にサービスを利用できるよう、介護予防サービス・支援計画を作成した。

サービス種類	項目	区分	29年度	30年度
介護予防支援	予防プラン作成数	直営	193件	172件
		委託	1,225件	1,473件
介護予防ケアマネジメント	総合事業プラン等作成数	直営	265件	221件
		委託	1,274件	1,469件

15 介護保険等訪問介護事業

(1) 介護保険サービス

ホームヘルパーが利用者宅を訪問し、身体介護や生活援助等を行った。
事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター(本所)		北部訪問介護センター(榛名)	
	29年度	30年度	29年度	30年度
訪問介護 ※1	1,070人	1,214人	558人	614人
介護予防訪問介護※2	863人	853人	460人	437人

※1 対象者は要介護認定者

※2 対象者は要支援認定者及び総合事業対象者

(2) 介護保険外サービス

高崎市より受託している「産後ママヘルパー派遣業務」として、高崎市保育課よりヘルパー派遣依頼を受け、生後6か月(多胎児の場合は、生後1年間)の母親のいる家庭に訪問し、育児・家事等の必要なサービスを行った。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター(本所)		北部訪問介護センター(榛名)	
	29年度	30年度	29年度	30年度
産後ママ(受託)	113人	147人	1人	2人

※平成30年度をもって事業廃止。

(3) その他サービス

道路運送法の規定に基づき、事業所所有の車両で目的地まで有償で送迎した。
事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター(本所)		北部訪問介護センター(榛名)	
	29年度	30年度	29年度	30年度
福祉有償運送 ※	137人	140人	187人	168人

※対象者は、総合事業対象者、要支援認定者及び要介護認定者

16 介護保険等通所介護事業

利用者に食事や入浴等の介護サービスや機能訓練を行った。

事業所別実施状況(延人数)

(単位:人)

	倉渕デイサービスセンター		群馬デイサービスセンター		吉井デイサービスセンター	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
通所介護	387	356	249	202	446	396
介護予防通所介護 ※	231	237	185	176	144	319

※介護予防・日常生活支援総合事業の予防通所介護相当サービスが含まれる。対象者は要支援認定者及び総合事業対象者(要介護認定なしで高崎市指定のアセスメントシート2015により審査認定された者)

17 認知症対応型共同生活介護事業(グループホーム一歩)

認知症の状態にある要介護者等が住みなれた地域社会の中で、自立とふれあいを大切に家庭的な環境のもと、共同生活が継続して営めるよう支援した。

ア 入居定員 9人(1ユニット全個室)

イ 平均年齢 83.5歳(67歳～95歳)

ウ 平均入居期間 3.3年

エ 提供サービス内容及び利用状況

快適な住環境及び食事を提供し、健康管理に加え自立支援を基本とした日常生活全般の支援・介護を実施した。また認知症の進行予防に資する機能訓練や社会交流の支援等を行った。

年間利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
29年度	入居者数	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人
	平均介護度※	2.3	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2	2.3	2.4	2.4	2.7	2.7	2.7
30年度	入居者数	8人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	8人	8人	8人	8人	7人
	平均介護度※	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.5	2.5	2.5	2.8	2.4

※入居者の要介護度は2～5。

18 障害者総合支援訪問介護事業

(1) 障害福祉サービス

日常生活に支障のある障害者(児)の家庭に、ホームヘルパーを派遣し、自分で出来る事はしてもらい、出来ない事を支援することにより、障害の状況や家族の状況等にに応じて在宅での生活を援助した。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護センター(本所)		北部訪問介護センター(榛名)	
	29年度	30年度	29年度	30年度
居宅介護 ※1	423人	549人	153人	166人
同行援護 ※2	83人	86人	-	-

※1 対象者は、身体・精神・知的障害者(児童含む)であり、高崎市より受給されたサービス支給量の範囲内で契約し、身体介護・家事援助・通院介助サービス等を行った。

※2 対象者は、視覚障害者であり、高崎市より受給されたサービス支給量の範囲内で契約し、一緒に買い物や散歩等を提供

(2) 移動支援事業

指定障害福祉サービス事業所として、高崎市より受託され、市内に居住している障害者及び障害児を対象に高崎市移動支援事業実施要綱に基づいて、外出支援を行った。

事業所別実施状況(延人数)

	中央訪問介護 センター(本所)		北部訪問介護 センター(榛名)	
	29年度	30年度	29年度	30年度
移動支援(受託)※	17人	43人	0人	0人

※利用者は、主に精神障害者や知的障害者

(3) その他サービス(延人数)

	中央訪問介護 センター(本所)		北部訪問介護 センター(榛名)	
	29年度	30年度	29年度	30年度
福祉有償運送 ※	76人	76人	0人	0人

※利用者は、障害福祉サービスの受給者

19 障害者総合支援生活介護事業(基準該当生活介護)

障害者総合支援法に基づき、地域において生活介護を受けることが困難な障害者に対し、基準該当生活介護(デイサービス)として、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう必要な日常生活上の支援及び介護並びに機能訓練等を行った。

群馬デイサービスセンター 利用者 2人

20 児童発達支援・放課後等デイサービス(はばたき)

利用児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行った。

利用状況

	開所日数	在籍数	年間利用人数
29年度	292日	21人	2,363人
30年度	292日	21人	2,242人

21 高崎市社会就労センターセルフ楽間

○就労継続支援B型

一般企業に就労及び適応することが困難な障害を有する方に対し、福祉的就労の場や生産活動の機会を提供し、個別支援計画に沿った就労継続支援B型サービスを通じて利用者の自立支援に努めた。

- ア 利用定員 20人(在籍数:20人)
- イ 開所日数 247日
- ウ 延べ利用人数 4,622人
- エ 就労支援事業内容(2グループ体制で実施)
 - ・組立作業(ダンボールパッド、東京オリンピック関連グッズ等)
 - ・検品作業(ポーチ、ケース、カー用品、アウトドア用品等)

- ・パッケージング作業(ホチキス針、ネジ、建材等)
- ・清掃、除草作業(公園、公共施設の除草、公立高校体育館清掃)
- ・分解作業(高崎市水道局より水道メーターの分解)
- ・売店作業(高崎市片岡及び六郷長寿センター内売店)

オ 就労支援事業状況

上記生産活動等により、7,607,360円の売上高を得て、必要経費を控除した6,988,803円を利用者に工賃として支給した。

カ 利用者家族と連携を図るため、家族連絡会を2回開催した。

キ 利用者の慰労や相互の親睦を図るため、納会を開催した。

ク 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

2.2 吉井障害者自立支援センター(こはぎ)

○就労継続支援B型

一般企業に就労及び適応することが困難な障害を有する方に対し、福祉的就労の場や生産活動の機会を提供し、個別支援計画に沿った就労継続支援B型サービスを通じて利用者の自立支援に努めた。

(1) 利用定員 20人(在籍数:17人)

(2) 開所日数 245日

(3) 延べ利用人数 3,896人

(4) 就労支援事業内容

- ・製造、販売作業(花卉の生産販売、花壇管理)
- ・組立作業(自動車部品等)
- ・清掃作業(吉井福祉センター)
- ・売店作業(高崎市片岡及び六郷長寿センター内売店)

(5) 就労支援事業状況

上記生産活動等により8,875,961円の売上高を得て、必要経費を控除した5,658,082円を利用者に工賃として支給した。

(6) 利用者家族と連携を図るため、「保護者会」を3回開催した。

(7) 利用者の慰労や相互の親睦を図るため、施設外研修、誕生会、その他の季節行事を開催した。また、地域との交流を図るため「こはぎ祭」を開催した。

(8) 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

(9) 必要に応じ、調理実習・金銭管理等の生活支援を実施した。

○生活介護

常時介護や援助を必要とする障害を有する方に対し、入浴・排泄及び食事時等の介護、創作又は生産活動の機会の提供及びその他必要な支援や訓練を実施し、個別支援計画に沿った生活介護サービスの提供を通じて、利用者の自立支援に努めた。

(1) 利用定員 10人(在籍数:12人)

(2) 開所日数 245日

(3) 延べ利用人数 2,443人

(4) 生活介護事業内容

- ・食事、排泄時等の個々に必要な介護
- ・入浴(月・木)、音楽活動(金)、レクリエーション、歩行訓練・外気浴等
- ・日常生活・身体機能等の維持向上訓練
- ・生産活動(組立作業等)、創作活動(マット編み等)

- (5) 利用者家族と連携を図るため、「保護者会」を3回開催した。
- (6) 利用者の教養・娯楽活動の一環として、施設外研修、誕生会、その他の季節行事を開催した。また、地域との交流を図るため「こはぎ祭」を開催した。
- (7) 利用者の健康管理及び防災体制の強化のため、利用者健康診断を1回、防災訓練を2回実施した。

2.3 地域活動支援センター（さくらそう・こぼと）

利用者が生活訓練や作業を通じて社会生活に対応できるよう援助した。

ア 開所日数及び利用者在籍状況

施設名	定員	在籍者数	開所日数	年間利用人数
箕郷福祉作業所	20人	14人	241日	3,195人
群馬福祉作業所	10人	7人	244日	1,477人

イ 作業内容

○箕郷福祉作業所(さくらそう)

- ・就労支援 ホチキス針箱詰、布団生地分別リサイクル作業、福祉会館清掃
オリジナル製品製作、段ボール組立作業、長寿センター売店業務
- ・自立支援 生活訓練、所外訓練(年4回)、当番活動、みんなの会(年12回)
- ・情操支援 体操指導(年12回)、音楽指導(月1～2回)、
季節行事(花見会、春季研修、こいのぼりの会、七夕、あいあいレクリエーション、秋季研修、クリスマス会、初詣、豆まき、ひな祭り)
- ・その他 保護者会(年2回)、運営委員会兼保護者会(年2回)

○群馬福祉作業所(こぼと)

- ・就労支援 ホチキス針箱詰・袋詰、オリジナル製品製作、長寿センター売店業務
- ・自立支援 料理教室、野外研修、戸外研修、宿泊研修
- ・情操支援 茶道教室、太鼓教室、読み聞かせ、あいあいレクリエーション、
納涼祭、花見、クリスマス会、節分会、ひなまつり
- ・その他 保護者会(年3回)

2.4 児童館事業

児童が健全で安全な遊びを通じて、心身の発達を図り豊かな情操を育むことを目的に運営する。年齢が異なる児童が交流する中、多様な遊びや活動に参加できるよう工夫し、地域での子育ての拠点として活用されている。

利用状況

施設名	年度	開催日数	児童(人)	保護者(人)	合計(人)	主な事業内容
倉賀野児童館	29年度	293	12,303	8,522	20,825	卓球、将棋、お茶会、料理、親子遊び、移動児童館、子育て講座、児童館まつり等
	30年度	292	10,556	7,754	18,310	
豊岡児童館	29年度	293	13,599	7,192	20,791	
	30年度	292	11,637	7,390	19,027	
井野児童館	29年度	293	13,861	9,383	23,244	
	30年度	292	13,435	9,869	23,304	
群馬児童館	29年度	293	13,486	9,325	22,811	
	30年度	292	13,656	9,594	23,250	

25 長寿センター事業

60歳以上の市民の健康づくりを推進するとともに、各教養教室開催等により福祉の増進を図った。

利用状況

施設名	年度	開館日数	利用人数	実施事業
群馬長寿センター	29年度	291日	60,750人	各種教養教室 文化祭
	30年度	289日	56,285人	
新町長寿センター	29年度	241日	15,738人	介護予防体操
	30年度	241日	16,248人	
新町鉄南長寿センター	29年度	241日	10,127人	介護予防教室等
	30年度	242日	11,247人	

26 各団体事務局の運営及び支援

- (1) 群馬県共同募金会高崎市支会事務局の運営
- (2) 高崎市民生委員児童委員協議会事務局の運営
- (3) 倉渕、箕郷、群馬4地区、新町、榛名及び吉井地区民生委員児童委員協議会事務局の運営
- (4) 倉渕、箕郷、群馬、新町、榛名及び吉井地区社会福祉協議会事務局の運営
- (5) 高崎市ボランティアグループ連絡協議会事務局の運営
- (6) 高崎地区更生保護女性会事務局の運営
- (7) 高崎地区更生保護女性会支部への支援(箕郷、群馬)
- (8) 高崎市ふれあい・いきいきサロン推進連絡会事務局の運営
- (9) 倉渕地区長寿会連合会への支援
- (10) 箕郷地区長寿会連合会、箕郷町身体障害者団体、箕郷町心身障害児者父母の会及び箕郷地区の各ボランティア団体への支援
- (11) 高崎市身体障害者団体連合会群馬支部、高崎市手をつなぐ親の会群馬支部及び群馬地区ボランティアグループ連絡協議会への支援
- (12) 新町地区長寿会連合会、新町母子寡婦会への支援
- (13) 榛名地区長寿会連合会、榛名地区身体障害者団体、榛名地区ボランティアグループ連絡協議会及び榛名療育父母の会への支援
- (14) 吉井地区長寿会連合会、吉井町ボランティアの会、吉井町身体障害者連合会及び吉井心身障害児(者)父母の会への支援

27 フードドライブ事業

「もったいないをありがとうへ」をスローガンに地区社会福祉協議会や企業・法人等に呼びかけ、家庭で余っている食品を募り、食料の確保が困難な団体や、生活困窮者支援を行う子ども食堂や生活困窮者支援を行う団体に寄付を行った。

- (1) 第32回たかさきふれあいの広場での実施
 - ・日 時 平成30年10月27日(土)
 - ・場 所 もてなし広場
 - ・内 容 広場においてブースを設けてフードドライブ事業の周知を図った。
 - ・寄附数 945点

(2) 歳末時期での実施

- ・期 間 平成30年12月10日(月)～12月20日(木)
- ・協力団体 企業4社、大学1校、専門学校1校、中学校1校
- ・寄附数 517点

(3) その他(社協窓口受付)

- ・上記以外での寄附数 6件(461点)

2 8 社会福祉関係実習生の受入れ

社会福祉関係の大学や専門学校、看護学校等から実習生を受け入れ、将来の地域福祉を担う学生等に対し、社会福祉協議会の業務について実習指導を行った。

実習受入れ状況

内 容	受入数
社会福祉相談援助実習	4人
社会福祉相談援助基礎実習	8人
医療・介護関係実習児童関係	2人
児童・保育関係実習	3人
実習生徒職場体験研修(高校生)	3人
生徒職場体験研修(やるベンチャー)	13人
産業現場実習	2人

第3 公益事業

1 おもちゃの図書館事業

発達の遅れが心配な子どもたちが、たくさんのおもちゃと豊かな遊びを通じて言語等の発達や社会性が育まれるよう支援した。

(1) おもちゃの図書館「あひる」

- ・開設場所 高崎市総合福祉センター1階
- ・開館日 毎週水・金曜日及び第1～4火曜日

利用状況

	29年度		30年度	
	児 童	保護者等	児 童	保護者等
あひる	478人	440人	716人	654人
開館日数	79日		130日	

発達相談事業および諸行事(あひる)

	発達相談		季節の制作	諸行事
	回数	延人数		
29年度	10回	42人	・こいのぼり・母の日 ・父の日・七夕飾り ・敬老の日・節分	・夏まつり ・運動会 ・クリスマス会
30年度	9回	42人	・おひなさま	・卒館式

- (2) 児童館で実施しているおもちゃの図書館
 障害のあるなしに関わらず、誰でもたくさんのおもちゃや友達と遊べるように児童館でもおもちゃの図書館を実施した。

利用状況

	29年度		30年度	
	児 童	保護者等	児 童	保護者等
らっこ(豊岡児童館)	351人	296人	345人	323人
ひまわり(井野児童館)	192人	179人	178人	170人
たんぽぽ(倉賀野児童館)	190人	177人	214人	197人
さくらんぼ(群馬児童館)	246人	227人	268人	239人
合 計	979人	879人	1,005人	929人

※おもちゃの図書館の利用人数は、(27)児童館事業の各児童館の利用人数に含まれる

2 福社会館事業(指定管理)

福祉センター2館と福社会館2カ所の指定管理を市から受け、施設の有効利用に努めた。

利用状況

施 設 名	29年度		30年度	
	開館日数	利用者人数	開館日数	利用者人数
倉渕福祉センター	311日	50,695人	307日	52,077人
箕郷福社会館	293日	7,193人	292日	6,621人
群馬福社会館	293日	39,432人	292日	40,676人
吉井福祉センター	293日	21,010人	292日	19,759人

3 配食サービス事業

ひとり暮らし高齢者等を対象に配食サービスを提供し、健康保持及び安否確認を行った。

実施状況

	箕 郷	榛 名
提 供 回 数	144回	51回
提 供 食 数	3,926食(内補助なし945食)	615食
実 人 数	44人(内補助なし 14人)	15人

※榛名は平成30年度をもって事業廃止。

4 高齢者あんしんセンターの運営(受託事業)

高崎市にある日常生活圏域46ヶ所のうち、北・東・西地区を担当し、地域住民の保健福祉の向上及び福祉の増進を目的に、地域住民の心身の健康保持及び生活の安定のための支援を包括的に行った。

- (1) 総合相談支援業務

地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、積極的に地域に出向き、

相談を受け、適切な保健・医療・福祉サービス関係機関や制度利用につなげる支援を行った。

項目		29年度	30年度
相談件数合計(延べ)		1,884件	2,060件
相談方法	電話	897件	1,337件
	来所	385件	384件
	訪問	574件	322件
	その他	28件	17件
主に認知症に係る相談(延べ)	65歳以上	23人	46人
	65歳未満	0人	1人

(2) 権利擁護業務

地域の住民や民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題解決ができない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状態にある高齢者が、地域において安心して尊厳ある生活を行うことができるように支援した。

項目		29年度	30年度
権利擁護に関する相談		15件	40件
相談内容	成年後見	11件	13件
	措置の支援	1件	6件
	地域福祉権利擁護	2件	7件
	高齢者虐待	0件	4件
	消費者被害	1件	10件

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、介護支援専門員、主治医、地域の関係機関等多職種の機関が連携をし、個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的なケアマネジメントが実現できるように後方支援を行った。

	ケアマネ個別 相談件数	支援事業 (研修会等)実施
29年度	484件	3回
30年度	651件	9回

(4) 地域ケア会議の推進

介護支援専門員、地域関係者、介護サービス事業者、保健医療関係者等の他職種が参加し、多角的視点から検討を行い課題解決に向けて地域ケア会議を開催した。

	地域ケア会議
29年度	1件
30年度	9件

(5) 認知症施策の推進

認知症の人に対し、状態に応じた適切なサービスが提供されるように、認知症専

門医療機関や介護サービス従事者等、地域において認知症の人を支援する関係機関との連携を図った。また、地域住民が認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう啓発活動を行なった。

	認知症サポーター 養成講座	認知症についての 講話	認知症カフェ
29年度	1回	7回	6回
30年度	4回	3回	6回

(6) 在宅医療・介護連携の推進

在宅医療に関する相談について、在宅医療・介護連携拠点へ情報を提供し、連携を図る。また、市と協働して在宅医療・介護サービスの提供体制の整備を推進した。

(7) 生活支援サービスの体制整備

第2層協議体(北・東・西地区)では、日常生活圏域等における各地域の支え合いの創出に向けて協議体を設置した。社会資源やニーズに関する情報収集、生活支援の担い手の養成、資源・サービスの開発や関係者のネットワーク化に向けての検討会を月1回の定例会として開催した。

開催名	開催日	参加人数
第15回協議体会議	平成30. 4. 18	10人
第16回協議体会議	平成30. 5. 23	6人
第17回協議体会議	平成30. 6. 20	4人
第18回協議体会議	平成30. 7. 18	5人
第19回協議体会議	平成30. 8. 22	6人
第20回協議体会議	平成30. 9. 19	9人
第21回協議体会議	平成30. 10. 17	8人
第22回協議体会議	平成30. 11. 21	6人
第23回協議体会議	平成30. 12. 19	8人
第24回協議体会議	平成31. 1. 16	8人
第25回協議体会議	平成31. 2. 20	9人
第26回協議体会議	平成31. 3. 20	4人

(8) 一般介護予防事業

筋力体操やストレッチ等の介護予防に取り組むことによって、自立の促進を図り、社会参加意欲を高めた。

	事業名	開催数	延べ参加人数	備考
29年度	元気はつらつ教室	全40回	766人	通年型
30年度	元気はつらつ教室	全26回	326人	13回×2クール

(9) 地域が実施する活動への支援

サロン等の充実に向けて支援する中で、介護予防の普及啓発を行った。

	地区サロン	町内会等地域行事
29年度	71回	2回
30年度	73回	0回

(10) 地域の関係機関との連携

地域関係者や介護サービス事業者、保健医療関係者等との連携を図り、地域の高齢者の見守りや支援についての情報交換や高齢者本人の課題解決について話し合いを行った。

	地域連携会議	運営推進会議
29年度	6回	12回
30年度	6回	9回

(11) 在宅福祉サービスに関する業務

高齢者が介護保険外の高齢者在宅サービスを適切に利用できるように支援した。

項目	29年度	30年度
高齢福祉サービス申請手続き代行	151件	196件

5 生活困窮者自立相談支援事業

市役所社会福祉課生活支援担当に、職員4名を出向させ、生活困窮者自立支援制度に基づく相談支援業務に従事した。

(1) 実施状況

	新規相談件数	継続相談件数	プラン作成件数	就労者数	増収者数
29年度	506件	1,491件	112件	63人	18人
	計1,997件				
30年度	610件	2,201件	132件	38人	9人
	計2,811件				

(2) 支援調整会議の開催(年12回)

相談員が作成した支援プランについて、ケースごとに専門機関の関係者を集めて協議検討した。

6 成年後見事業

成年後見制度の需要が高まっていることを受け、日常生活自立支援事業で培ってきた知識や専門性を活かし、公益的な取り組みとして成年後見の利用を促進することを目的として、法人として成年後見人等の受任に向けて必要な体制整備を図った。

成年後見事業運営委員会の開催

・日 時 平成30年11月28日(水)

- ・会 場 高崎市総合福祉センター
- ・出席者数 5人（弁護士、医師、司法書士、社会福祉士、社協）
- ・内 容 成年後見事業実施要綱及び運営委員会要綱説明、利用者案件について

第4 収益事業

財源確保のため収益事業を行い、健全な経営と利益の効率化に努めた。

種 別	場 所	従業員数	備 考
売 店 経 営	斎場会館	3人	通年(友引の日以外)
	倉渕福祉センター	3人	通年
	六郷長寿センター内 片岡長寿センター内	-	通年(月～水曜日、金曜日)
自動販売機設置	2ヵ所5台	-	通年 中央公民館 1台 染料植物園 4台
自賠償保険取扱い	本所	-	通年 取扱件数 131件

※六郷・片岡長寿センター内売店については、セルフ楽間、箕郷福祉作業所、群馬福祉作業所、吉井障害者自立支援センターに業務委託し、職員と施設利用者が、飲料・菓子等の販売に加えて、施設オリジナル製品（花苗、手芸品等）も販売した。